



## 「プロフェッショナル人材事業」の活用

プロフェッショナル人材（以下：プロ人材（※）事業（内閣府地方創生推進室担当）は、「地域企業が潜在的な力を開花させ、成長することにより、地域経済に新たな付加価値を創出し、地方への新たなひとの流れを生み出す」ことを目的に、平成27年10月に発足している。各道府県に「プロ人材戦略拠点」を設置し、戦略拠点のマネージャーが、地域企業の実情に沿って求人開拓を行い、都市部の人材会社等に求人情報を提供し、企業とのマッチングを図るものである（※※）。

（※）プロ人材とは「新たな商品・サービスの開発、その販売や個々のサービスの生産性向上などの具体的な取組を通じて、企業の成長戦略を具現化していく人材」をいう。

（※※）H27/10の事業発足以来、企業側からの人材ニーズ累計相談件数は6,972件で、成約件数は284件となっている。

9月29日に「平成28年度プロフェッショナル人材戦略シンポジウム」（内閣府主催）が都内で開催され、冒頭、この半年で予想を超える3百人ものプロ人材採用の報告があった。その後「プロフェッショナル人材が地域の中堅・中小企業で活躍するポイントとは」をテーマにしたパネルディスカッションが行われ、その中では、本事業実施前にプロ人材を採用して成功した、次のような企業の事例が紹介された。

◇売上急増の熊本の健康食品メーカーは、管理職クラスで新卒社員を教育できる人材が不足していたため、40歳代のマーケティングに精通した人材を採用し、正しい商品知識や薬事法に関する研修体制を整備することが出来た。

◇下請けから脱却して自社ブランドの高級スピーカーを開発した広島メーカーは、新製品の販路拡大を出来る人材がいなかったため、大手電機メーカーで販売部長を務めた50歳代の人材を採用し、新規に大手量販店の有力販路を開拓出来た。

地域の中小企業は慢性的な人材不足をはじめ、経営者の高齢化や事業承継の悩みも尽きない。今後、「地域企業」も積極的にプロ人材を活用し、経営課題の解決や新販路の拡大など「攻めの経営」への転身を図り、多く企業が成長することが期待される。

◎参考：プロ人材戦略ポータルサイト <http://pro-jinzai.go.jp/>

（執筆者：Cの会 涌元三裕）

※JRS経営情報の中から、次のコンテンツを参考にしてください。

- 専門知識や技能を持った社員を獲得するルート・方法・・・・・・・・（0104-1050）
  - どの企業にもある経営資源を乗り越えていくために・・・・・・・・（2010-0392）
  - 人材採用のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（1101-2029）
  - 団塊世代の大量定年に伴う人材流出と中小企業対応・・・・・・・・（2006-2587）
  - 経営者の八つの困りごととは何か・・・・・・・・・・・・・・・・（1103-0582）
- （ ）内は情報番号です

なお、お客様にコンテンツを提供される場合には、最初のページに「サンプル」と表示してください。またお探しの情報が不明な場合はご連絡ください。（☎0120-89-0240）